



たきた ようこ
滝田 洋子 議員
(日本共産党議員団)



小中学校敷地内における除草剤の使用について

Q グリホサート系の除草剤は、最近では、輸入小麦、輸入蜂蜜等において残留が確認され、発がん性などの危険性が指摘され、使用禁止、使用制限が世界的に広がっている。児童生徒の中にはアレルギー体質の方なども多くいることを考えると、除草剤を使用しないことはできないのか、伺いたい。

A 教育部長

保護者、PTAの方々のご協力で除草剤を使用しないで済んでいる学校も数校あります。

今後、佐野市内全校にコミュニティスクールというものを導入していく中で、学校支援をどのようにしていくべきかという話合いも持たれるため、そのような際にご提案することも可能かと思えます。

その他の質問

☆小中学校における児童・生徒に対する生理用品の配布方法について
☆不登校児童・生徒への支援について
☆佐野市文化会館及び佐野市葛生あくとプラザの利用料について



たどころ よしお
田所 良夫 議員
(新風)



出流原PA周辺総合物流開発整備「100ha開発」について

Q 5月4日の下野新聞に掲載された市長の公約自己採点表で、目玉の一つである国際防災拠点創設と防災関連企業の誘致についてを100点満点中20点とした内容の根拠及び進捗状況について、また、目標達成時のイメージとその要素、そのうちの20点のイメージ予想について聞きたい。

A 市長

庁内において防災拠点の創設に向けた調査、研究に着手した段階であり、まずは実現に向けて第一歩を踏み出したとの認識です。

評価項目を大きく5項目に分け、防災拠点の創設に向けた調査研究の着手を1番として、2番に出流原PA周辺総合物流構想との整備、3番に国際防災拠点整備方針の策定、4番に国際防災拠点の創設、5番として防災関連企業の誘致等を対象として洗い出した結果、現在が20点です。



くぼ たかひろ
久保 貴洋 議員
(倉生会)



「いちご会」とちぎ国体・ちぎ大会」開催準備について

Q 大会機運の醸成と市民総参加を盛り上げる取組として、選手や来場する皆様に対してのおもてなしの一部である花いっぱい運動の準備はどの程度進んでいるのか、また、大会を見守る火としてもされる※炬火について、市での採火イベントをどのように進めるのか伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

令和3年度に市立小中学校、義務教育学校及び仲町通り緑化愛護会に育苗を依頼し、育てていただいた花のプランターを競技会場や会場周辺、まちなかに設置したいと考えています。

また、7月30日開催の女子中学生を対象としたバレーボール教室に合わせて炬火イベントを実施し、木と木をこすり合わせる火おこしであるまいぎり式の火を佐野市の炬火として、大会を盛り上げていきたいと考えています。

その他の質問

☆(仮称)出流原PAスマートインターチェンジについて
☆令和4年度佐野市市民体育祭について

※炬火とは・・・

オリンピックの聖火にあたり、県内市町村のイベント等で採火された火が総開会式で1つとなり、大会中ともされるもの